

令和6年度

家庭学習の手引き



浜中町立茶内小学校

保護者の皆様へ

【学校と家庭で手を取り合って！】

茶内小学校では、「子ども」を主語にした授業づくりや朝学習等、児童の学力向上の取り組みを行っておりますが、ご家庭のご協力により、その効果をさらに高めていきたいと考えております。

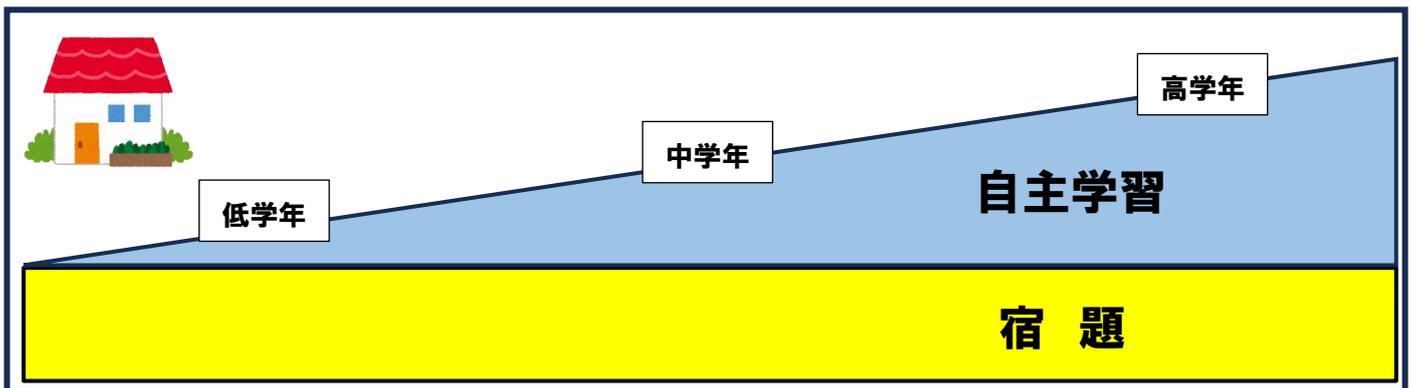
本校では、「家庭学習」を重要事項として、以下のように共通理解を図りました。

「家庭学習」とは、学校から毎日出される「宿題」と、児童が自ら計画を立てて学習を進める「自主学習」の2つを合わせた家庭で行う学習活動としました。



☆自主学習の具体については、各学年の実態を踏まえたいい取り組みをお便りで紹介していきます。

宿題に取り組むことで、学習の基礎となる知識や技能を身に付けることができます。自主学習に取り組むことは、自ら計画を立て、主体的に物事に取り組む力を育てることに繋がります。家庭と学校が手を取り合って、家庭学習を充実させ、児童の「**学ぶ力**」をしっかりと育てていきましょう。



【励ましが意欲に繋がります！】

家庭学習に向かう「意欲」は、励ましや支えによって大きくなります。家庭学習を習慣として確立していくためにも、家庭での声掛けや支援をお願いします。

〈かかわりのポイント〉

- 学校からのお便りを児童自身が親に手渡す習慣を付けさせましょう。
- 頑張ってやり遂げたという行動を褒めましょう。
- 低学年のうち、なるべく近くにいてあげましょう。
- 辞典や図鑑、地図などを身近に置きましょう。
- スマホを置いて一緒に読書を楽しみましょう。



家庭学習習慣の取り組みについては、子どもたちの積極的な姿が見られますが、継続的にみると、習慣が身についている児童は多くない状況です。各家庭では、この「家庭学習の手引き」を参考にして、お子さんの家庭学習の見直し（学年に応じた質・量の見直し）をしていただけたらと思います。また、メディアやゲーム等に使う時間が長くなり過ぎないように、お子様と話し合ってルールを決めるなど、お子さんの生活リズムづくりに協力していただけたらと思います。

がくしゅうようぐ 学習用具のきまり

ふでい なかみ 筆入れの中身

鉛筆 5～6本 (三角か六角)

1～2年は 2B又はB

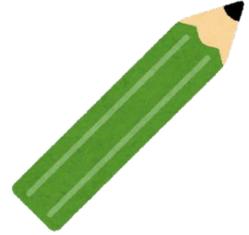
3～6年は B又はHB

赤鉛筆 (3年以上は赤ペンも可) 1本

青鉛筆 (3年以上は青ペンも可) 1本

消しゴム よく消える事務用のもの (白・黒・四角)

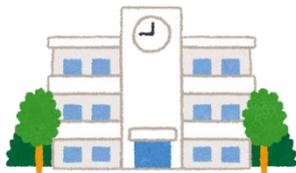
15cm定規



がっこう 学校においておく学習用具

【全学年】

- はさみ
- セロハンテープ
- のり
- 色鉛筆
- 名前ペン
- 道徳の教科書
ノート



【1・2年】

- クレヨン
- フェルトペン

【3・4年】

- コンパス
- 三角定規セット
- 地図帳
- 国語辞典
- 分度器 (4年)
- 社会科郷土読本「はまなか」
- 教科書 (保健)

【5・6年】

- コンパス
- 三角定規セット
- 地図帳
- 国語辞典
- 分度器
- 教科書 (国語・社会・算数・理科以外)

- 学習で使用しないものは、持ってきません！
- シャープペンシルは持ってきません！
- 必要以上にキーホルダーやストラップをつけません！
- 飾りのついた鉛筆は、持ってきません！

じしゅがくしゅう と く かた 自主学習の取り組み方

と く もくひょうじかん 取り組み目標時間

- 1ねんせいは、10ぷんいじょう
- 2ねんせいは、20ぷんいじょう
- 3年生は、30分以上
- 4年生は、40分以上
- 5年生は、50分以上
- 6年生は、60分以上

まいにち
毎日コツコツ
つづけることが大事だね



はじめるまえに

- 学校がっこうからのおたよりをお家うちの人にわたしましょう。
- 机つくえの上や周りうえまわを整せいとんしましょう
- テレビや音楽おんがくは消けし、通話つうわなどは切きりましょう。

1 はじめに

- ☆宿題しゅくだいをまいにち（毎日、かなら必ずやりましょう）

2 つぎに

- ☆自主学習じしゅがくしゅうにも取り組みとくましょう（1年生ねんせいは宿題しゅくだい中心ちゅうしんでがんばりましょう）
- 「自主学習じしゅがくしゅうって、どんなことひとをしたらいいの？」という人うしは、後ろうしろのページせつめいの説明みを見てみよう！

3 さいごに

- 筆入れふでいの中の鉛筆なか えんぴつをけずりましょう。
- 時間割じかんわりを見て、明日あしたの持ち物も ものの準備じゅんびをしましょう。

つか
使った場所ばしょの

あとかたづ
後片付けわすも忘れずに！



じしゅがくしゅう 自主学習のコツ

1 週のはじめに、1週間の自主学習の計画を立てる！

たとえば… (月) 漢字練習、(火) 計算練習、(水) 理科の復習など

2 友達の自主学習を参考にする！

『家庭学習の手引き』や『みんなの自主学習ノート（仮）』（通信）



じしゅがくしゅう 自主学習ノートの使い方(例)

○月○日

〈課題〉

き 気をつけること・がんば 頑張ることなど

- しら 調べたこと
- にがて もんだい 苦手な問題
- テストやプリントで
まちがえたところ など

〈振り返り〉

- き 気づいたこと など

自主学習は、
自分で計画を立てて、
自主的に取り組みま
しょう！

かていがくしゅう

こんな家庭学習をしよう（1年生）

まずは、先生から出された しゅくだいをやりましょう。



1 おん 音どく（こえを出してよみましょう）

- いま べんきょう している ところを、なんかい よむか じぶんで きめて こえを 出して よみましょう。
- すらすら よめるように れんしゅう しましょう
- れんしゅうしたら おうちの人に きいてもらいましょう。

2 もじ 文字のれんしゅう

- ならったひらがな、カタカナ、かん字を かきじゅんや かたちに 気をつけて ノートにれんしゅうしましょう。
- ひらがなで しりとりを しながら かいてみましょう。

3 にっき・さく 文

- くっつきの「は」「へ」「を」を つかって 文をつくりましょう。
- カタカナのことばや かん字を つかって 文をつくりましょう。
- たのしかったことや 本をよんで おもったことを えにっきに かきましよう。
- 1文からはじめて、2文3文と ふやしていきましょう。

4 けいさんれんしゅう

- 10までのかずを かく れんしゅうを しましょう。
- あわせて10になるかずを かきましよう。
- 20より大きいかずを 「10がいくつと1がいくつ」にわけましよう。
- たしざんやひきざんの れんしゅうを しましょう。

5 そのた

- いえにある もんだいしゅうを やるのもいいですね。こたえあわせをして、まちがいは なおましよう。

もくひょうじかん
10～20分

かていがくしゅう こんな家庭学習をしよう（2年生）

せんせい だ
まずは、先生から出された しゅくだいをやりましょう。



1 おんどく こえ だ よ 音読（声を出して読みましょう）

いま べんぎょう なんかいよ じぶん こえ だ よ
○今、勉強しているところを何回読むか自分できめて、声を出して読みましょう。

（かん字を正しく、気持ちよく、聞いている人にいみがわかるように）

○練習したら、お家の人に聞いてもらいましょう。

2 かん字のれんしゅう

○ならったかん字を書きじゅんにきをつけてノートに練習しましょう。

（読みがなもつけましょう。）

○いみのわかる言葉で書きましょう。

3 にっき さくぶん 日記・作文

○ならったかん字やかなをつかってみじかい文を作りましょう。

○思ったことや気づいたことを入れてあそんだことや楽しかったことを書きましょう。

○「 」を正しくつけて会話文を入れた文を書きましょう。

4 けいさんれんしゅう 計算練習

○たし算やひき算のひっ算の練習をしましょう。

○九九のあんしょうができるように、練習をしましょう。

○算数のもんだいを作ってみましょう。

（たし算、ひき算、かけ算になるもんだいを作りましょう）

○時間をきめて、百マス計算にちょうせんしましょう。

5 その他

○家にあるもんだいしゅうにとり組むのもいいですね。答え合わせをして、まちがいはなおしておきましょう。

○上に書かれていない学習を、自分で考えてするのもいいでしょう。

もくひょうじかん
目標時間
20～30分

かていがくしゅう こんな家庭学習をしよう（3・4年生）

まずは、先生から出された宿題をやりましょう。



<国 語>

- 今、勉強しているところや、これから勉強するところを何回読むか自分で決めて、声に出して読みましょう。
- 漢字ドリルを見ながら、「とめ」「はね」「はらい」に注意してていねいに練習しましょう。
- 漢字一つだけ書くのではなく、「じゅく語」や「短文」で書きましょう。
- 国語辞典を使って、意味のわからない言葉を調べましょう。調べたらノートに意味を書いておきましょう。
- その日の出来事や考えたこと調べたことなどについて書きましょう。
- 習った漢字を使って文を書きましょう。

<算 数>

- その日に勉強したところの問題を、家でも練習しましょう。
(同じ問題を何度も練習すると間違えないで早くできるようになります)
- 教科書やドリルの問題をくり返ししましょう。問題をといたら丸つけをしましょう。
- 間違えたら、「どうして間違えたのか」を考えて、やり直しをしましょう。
- テストを返してもらったら、間違えた問題をもう一度やり直しをしましょう。

<社会・理科>

- 大事なところに線を引ながら、教科書をもう一度読んでみましょう。
- 大事な語句を中心に教科書の内容をノートにまとめてみましょう。
- まだ学習していないところの教科書を声に出して読みましょう。
- わからない内容やきょう味のあることを図鑑や事典・インターネットなどで調べましょう。

<その他>

- ノートは1日1～2ページなど、見直しやすいようにページごとに使いましょう。
- 同じ内容ばかり（毎日漢字練習だけなど）でなく、バランスよく取り組みましょう。
- 自分が苦手だと感じている内容には特に時間や量をかけて取り組みましょう。

ちくひょうじかん
目標時間
30～50分

かていがくしゅう こんな家庭学習をしよう（5・6年生）

まずは、先生から出された宿題をやりましょう。



〈国語〉

- 今、勉強しているところや、これから勉強するところを声に出して読みましょう。
- 漢字ドリルを見ながら、「とめ」「はね」「はらい」に注意してていねいに練習しましょう。
- 漢字一つだけ書くのではなく、「熟語」や「短文」で書きましょう。
- 国語辞典を使って、意味のわからない言葉を調べましょう。調べたらノートに意味を書いておきましょう。（調べる前に、意味を予想してみましょう。あたっているかな？）
- 心に残った出来事に題名をつけて、習った漢字をできるだけたくさん使って日記を書きましょう。

〈算数〉

- その日に勉強したところの問題を、家でも練習しましょう。
（同じ問題を何度も練習すると間違えないで早く解けるようになります）
- 教科書やドリルの問題をくり返ししましょう。問題を解いたら〇つけをしましょう。
- 間違えたら、「どうして間違えたのか」を考えて、やり直しをしましょう。
- テストを返してもらったら、間違えた問題をもう一度解き直しましょう。
- 次の日にやる問題の解き方を考えて、やり方をノートに書きましょう。

〈社会・理科〉

- 大事なところに線を引ながら、教科書や資料集をもう一度読んでみましょう。
- 大事な語句を中心に教科書の内容をノートにまとめてみましょう。
- まだ学習していないところの教科書を読み、わからない内容や興味のあることを図鑑や事典・インターネットなどで調べましょう。
- 教科書に出てきた地名や国名を、地図帳で調べましょう。（〇〇県〇〇市は日本のどのどのへんかな？）

〈その他〉

- ノートは1日2ページなど、見直しやすいようにページごとに使いましょう。
- 同じ内容ばかり（毎日漢字練習だけなど）でなく、バランスよく取り組みましょう。
- 自分が苦手だと感じている内容には特に時間や量をかけて取り組みましょう。

目標時間
50～70分

